

# 行政視察報告書

(山口県宇部市・周南市)

令和5年6月20日(火)

～22日(木)

鹿沼市議会 親悠会

## 1 行政視察日程について

期間・・・令和5年6月20日（火）～22日（木）

## 2 訪問都市と調査事項について

### 1) 山口県宇部市（宇部市役所）6月20日 14時30分～

「アートによるまちづくりについて」

- ① 概要や目的について
- ② 事業費について
- ③ 経済効果など、事業の効果や実績について
- ④ 課題や、今後の展望について

### 2) 山口県周南市（徳山駅前施設）6月21日 14時00分～

「徳山駅前賑わい交流施設について」

- ① 交流施設の概要や、整備の目的について
- ② 交流施設の市民の利用状況について
- ③ 交流施設の市での活用状況について
- ④ 課題や、今後の展望について

## 3 参加者 鹿沼市議会 「親悠会」

横尾武男、関口正一、谷中恵子

## 1) 宇部市の概要・地勢について

R5年5月1日現在 人口159,418人、世帯数は80,051世帯

宇部市は、山口県南西部、瀬戸内海に面する県内有数の工業都市。

明治期以降の石炭産業の隆盛により栄え、戦後は素材供給型化学工業を中心とする臨海工業都市へと変化しました。

現在は環境共生都市として世界的に知られています。

1961年開始の野外彫刻展が隔年で開催され、彫刻のあるまちづくりの先進モデルになっています。

気候は温暖で、雨が比較的少ない典型的な瀬戸内海式気候で、市中央部以北の丘陵地には豊かな自然があふれ、様々な動植物生息しています。

## 2) アートによるまちづくりについて

### ① 概要や目的について

#### A概要

- ・ 彫刻企画開催事業  
    企業展及びPR展の開催
- ・ 彫刻教育推進事業  
    小中学生を対象とした彫刻及び模型鑑賞授業の実施  
    多世代を対象とした講座の開催
- ・ 彫刻維持管理事業  
    市内各所への彫刻設置及びその維持管理

#### B目的

- ・ 市民がアートに触れる機会を創出
- ・ シビックプライドの醸成
- ・ 子どもたちの想像力や豊かな感性を育む
- ・ 居住地の良い魅力ある都市空間の形成

### ② 事業費について

- ・ 事業費 36,150千円 (R4決算額)  
    維持管理経費 21,410千円  
    うち整備の要した費用 彫刻修繕費 2,943千円  
    彫刻設置工事費 4,288千円
- ・ 企画展開催経費 5,154千円
- ・ 彫刻教育推進経費 9,586千円

③ 経済効果など、事業の効果や実績について

- ・経済効果については算定していません
- ・事業の効果としては、「UBEビエンナーレ」に対する市民の理解度がR3年度73.0%から、R4年度78.5%と5.5ポイント上昇
- ・実績としては、まちに彫刻を設置
  - 大賞作品、UBE株式会社賞作品買い上げ、作家からの寄贈作品
  - 市内に約200点の野外彫刻を設置
  - 地区要望により彫刻を設置（R4年度2点）
- ・野外彫刻の維持管理（点検・修繕・清掃）を実施
- ・さまざまな企画展を開催
- ・彫刻教育を実施

④ 課題や、今後の展望について

A課題

- ・彫刻メンテナンスに係る費用等の財政基盤の強化
- ・さらなるUBEビエンナーレの認知度向上

B今後の展望

・本市のまちづくりに大きく関わってきたUBEビエンナーレについて、市民の意見を広く聞き、持続可能な野外彫刻のあり方、今後の方向性を示す「UBEビエンナーレビジョン」を令和5年度中に策定し、課題解決に向けて取り込む

3) 最後に

ときわ公園に100点、まちなかに100点、彫刻が設置されており、「まちづくり」にアートを取り入れた試みとしては、国内初の事例とされています。

今、数えきれないほどの彫刻が、まちに元気、やすらぎを与えてくれています。

鹿沼市も岡本太郎氏の「夢の木」、巨大いちごのモニュメントがありますので、今後もまちのPR、市民のやすらぎにつなげていきたいと思えます。

## 1) 周南市の概要・地勢について

R5年5月31日現在 人口137,019人、世帯数は68,028世帯  
周南市は、山口県の中央に位置し、北部は中国山地で島根県と接し、南部は瀬戸内海を臨んでいます。

2003年に徳山市と新南陽市、熊毛町、鹿野町が合併。

国際拠点港湾、国際バルク戦略港湾である徳山下松港を擁し、海岸線に沿って石油化学コンビナートが並ぶ西日本有数の工業都市として発展し、コンビナートから発生する水素をまちづくりに活用する取り組みを推進しています。

また、市の総面積の8割近くを林野が占めており、本州で唯一のナベツル飛来地があるなど、豊かな自然に囲まれています。

## 2) 徳山駅前賑わい交流施設について

### ① 交流施設の概要や、整備の目的について

#### ・徳山駅周辺整備事業

平成17年から、徳山駅周辺整備構想

#### ・徳山駅周辺デザイン会議

徳山駅周辺整備事業にかかる基本計画及び景観について、総合的に検討し、円滑に推進するために立ち上げられた。

#### ・徳山駅周辺まちづくりシンポジウム

平成21年3月 徳山駅周辺のデザインについて

平成22年1月 後世に何を残すか

平成26年8月 まちのプラットホーム

—新しい徳山駅ビルに期待する役割—

#### ・賑わい交流施設整備事業

市民アンケート (平成25年11月実施)

市民が行きたいと思う場所のイメージ

1位 落ち着いて、居心地の良い

2位 カフェやレストランが併設

3位 年中無休で早朝から夜遅くまで開いている

徳山駅ビルに欲しい施設

1位 カフェ

2位 書店

\*ブック&カフェが併設された民間活力導入図書館は市民ニーズに合った施設

#### ・新たな駅ビルのコンセプト

このまちへ来る人へのおもてなしの場

このまちに住んでいる人たちの居場所

人が集い楽しむこのまちの賑わいと交流の場

② 交流施設の市民の利用状況について

- ・年中無休

9時30分～22時

- ・徳山駅西駐車場

125台駐車可能

- ・来館者数

オープン当初目標 年間120万人

平成31年2月 累計200万人

令和2年2月 累計400万人

令和4年11月 累計800万人

\*市民はもちろん、多くの方々に利用いただいている。

③ 交流施設の市での活用状況について

- ・多くのイベントの開催

実行委員会、市、財団、商工会議所、指定管理者等が利用週末のイベントが多く開催されている。

④ 課題や、今後の展望について

A課題

- ・街と駅の連絡調整
- ・さらなる賑わいを広げるための施策

B今後の展望

- ・街と駅との連携会議の開催
- ・徳山あちこちマルシェの開催
- ・徳山駅周辺整備事業に呼応した民間による再開発事業が進行中  
ホテル、マンション、オフィス、商業施設等が入り、駅前に新たな賑わいが生まれることが期待される。

(グランドオープン：令和5年12月頃の前定)

3) 最後に

賑わいと交流を生み出す自由な空間を持つ徳山駅前賑わい交流施設。

午前9時30分から午後10時まで開館、年中無休の図書館は、様々な年代の方々に利用いただいています。

併設のスターバックスコーヒー及び蔦屋書店は、午前8時から午後10時まで、開店しているので、多くの方々が利用されていました。

会議等で利用できる交流室もありますので、「若い人に会いたい人は、ここに来て！」という感じでした。

多くの方々が一同に集まれ、だれもが楽しめる徳山駅前賑わい交流施設  
本当に素晴らしい施設でした。

鹿沼市もさらに市と多くの団体が連携し、様々な年代の方々が楽しめるイベ  
ント等の企画に力を入れていただき、住んで良かったと思えるまちづくりをす  
すめていきたいと思えます。

宇部市、周南市におかれましては、お忙しい時期にもかかわらず、視察を受  
け入れていただき本当にありがとうございました。

丁寧な説明をいただき、活発な質疑応答もさせていただき、大変有意義な視  
察となりました。

## 山口県宇部市



宇部市役所での説明



UBE ビエンナーレ（ときわ公園現地視察）

## 周南市



徳山駅前賑わい交流施設（図書館）